

令和 6 年度

## 株式会社小宮山土木

所在地: 〒384-2308 北佐久郡立科町大字牛鹿 1616-1

業種: 建設業

従業員数: 70 名

同社は、道路や河川、橋梁などの公共土木工事を中心に、地域インフラの整備と維持を通じて安全・安心な暮らしを支えています。確かな技術で、地域住民や自治体から厚い信頼を得ています。

### 採用戦略コンサル支援による企業の取組内容

#### 1. 自社の強みと課題を再定義し、魅力発信へつなげる仕組みづくり

福利厚生や WLB 施策など、社内で“当たり前”となっている強みを整理・可視化し、採用広報に活かす取り組みを実施。あわせて、建設土木業界に対する誤解を解消する情報を発信。週休 2 日制の導入や ICT 活用など、過去のイメージである 3K ではない実態を求職者目線で伝えることで、心理的ハードルを下げ、業界全体のイメージ改善と応募促進を図る。

#### 2. 採用導線の最適化と情報発信ツールのアップデート

HP・パンフレット・SNS などの採用ツールを見直し、定期的な情報更新と導線の明確化、視覚的な伝わりやすさを重視。特に採用案内では建設系学科卒と未経験者向けにコンテンツを分け、対象ごとに響く構成に改善。高校生向け説明会では「働くとは何か」というテーマを用い、主体的な進路選択を促す工夫を導入。

#### 3. 社内体制の見直しと“自走できる仕組み”づくり

採用を全社的な取り組みと捉え、経営・現場・人事それぞれの役割を明確にした体制づくりを支援。離職防止にも注目し、企業として「何をしてあげるか」から「何をさせてもらえるか」へ視点を転換。関係性や価値観を重視した育成・定着支援のあり方を検討し、相互理解やエンゲージメントを高める組織風土の形成を推進。

#### 4. 地域連携・新チャネルの拡充と柔軟な採用戦略の導入

少子化・人手不足の加速を受け、地域の学校との連携強化やハローワークのスカウト機能を活用し、幅広い応募層との接点を確保。さらにリファラル採用制度の整備や、オウンドメディア・スカウト型ツールの導入も検討。広告依存から脱却し、短期採用と中長期育成の両立を可能にする柔軟な採用戦略へと移行を図る。